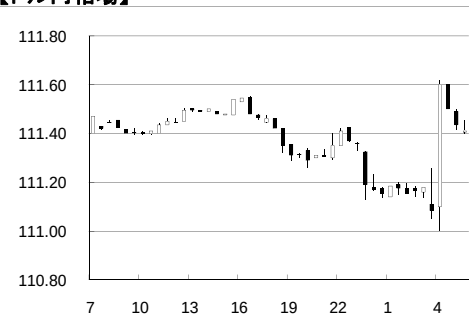


みずほCustomer Desk Report 2019/05/07 号(As of 2019/05/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	111.41	1.1216	125.03	1.3034	0.7050
SYD-NY High	111.61	1.1265	125.22	1.3102	0.7060
SYD-NY Low	111.00	1.1184	124.74	1.3020	0.7008
NY 5:00 PM	111.39	1.1195	124.74	1.3048	0.7016
NY DOW	26,430.14	▲ 162.77	日本2年債	-	-
NASDAQ	8,049.64	▲ 45.75	日本10年債	-	-
S&P	2,923.73	▲ 22.10	米国2年債	2.3064	4.24bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.3025	2.50bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.5008	▲ 0.19bp
シカゴ日経先物	22,215	▲ 160	独10年債	-	-
ロンドンFT	7,385.26	▲ 32.96	英10年債	1.1490	▲ 3.50bp
DAX	-	-	豪10年債	1.7795	▲ 2.10bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	5.12	▲ 0.27%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.69	▲ 0.20%
NY金	1,284.20	▲ 1.50	USDJPY 6M Vol	6.20	▲ 0.20%
WTI	63.60	▲ 0.31	USDJPY 1M 25RR	-1.18	Yen Call Over
CRB指数	183.66	▲ 0.59	EURJPY 3M Vol	6.80	▲ 0.15%
ドルインデックス	97.69	0.21	EURJPY 6M Vol	7.23	▲ 0.11%

【ドル円相場】



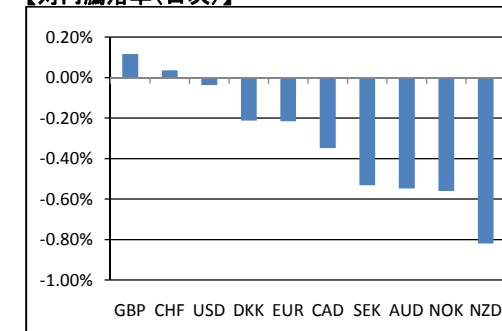
【ユーロ円相場】



【ポンド相場】



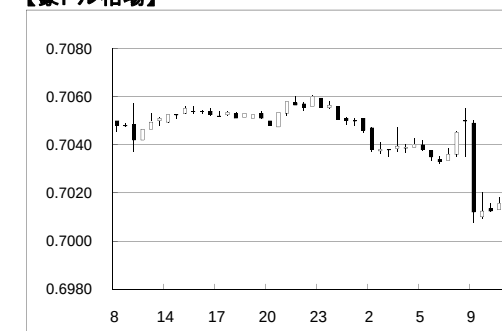
【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



アジア	休場
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.54レベルでオープン。LDN午後には控えるFOMCへの警戒感からドル円はドルインデックスが下落基調で推移する中、111.26まで下落。しかしその後は小幅に反発し、結局111.30レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3034レベルでオープン。アジアの市場の多くや欧州大陸諸国が祝日で市場が閑散な中、ポンドドルは狭いレンジでの推移。英4月製造業PMI(速報値)が予想通りの53.1となったことで、英国EU離脱に関する不透明感が継続するものの、英景況への具体的な影響が引き続き見られていないこともあり、ポンド買いの新材料となった。結局、1.3071レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は111.30レベルでNYオープン。NY朝方は米4月ADP雇用統計が予想を上回り、ドル円は111.42まで上昇。米中通商協議が5/8に再開されることが明らかになったが、ドル円の反応は限定的となった。続いて発表された米4月ISM製造業景況指数は、52.8と2016年10月以来のレベルまで低下し、構成指数の新規受注や雇用が低下したことからドル売りが強まり、111.13まで下落。その後はFOMC結果発表をNY午後には控え、ドル円は狭いレンジでの推移が続く。注目のFOMCでは、FF金利を据え置く一方、IOER(超過準備預金金利)が現行の2.4%から2.35%へ引き下げられることが明らかになり、声明文では、「金利の変更は辛抱強い姿勢を維持」、「全体と3月のインフレが低下した」ことが明らかになり、ドル売りが強まり安値111.05まで下落する。パウエルFRB議長の記者会見ではIOERは小さい調整であって政策変更ではないことなどが明らかになり、インフレ低下も一時的との見方を示したことから、その後はドル買い戻しが優勢となり、111.61まで反発し、111.39レベルでクロスした。一方、ユーロドルはFOMC結果発表を控えたドル売りにじり高で推移し、1.1237レベルでNYオープン。NY朝方はADP結果を受けたドル買いに1.1222まで下落するが、米4月ISM製造業景況指数の内容を受けたドル売りに1.1250まで戻す。NY午後は、FOMC結果を受けたドル売りに1.1265まで上昇する。しかしパウエル議長の記者会見を受けドルが買い戻されたことから1.1187まで反落し、1.1195レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。